

# 『千曲市総合運動公園基本構想』策定について

## 1. 構想策定の背景

市では、第二次千曲市総合計画に基づき、戸倉体育館周辺敷地及び白鳥園周辺敷地の低未利用地を含めた施設整備についての検討を令和2年度から始めました。

戸倉体育館周辺は野球場の建設や体育館の建て替え等施設の見直しを含んで、利用者ニーズを踏まえた時代にあったスポーツ施設の集積地としてのリニューアルが求められています。

白鳥園エリアも含めた低未利用地の有効活用や、千曲川の河川敷の活用を図るかわまちづくりの展開、さらには戸倉体育館エリアに隣接する都市計画道路千曲線や周辺道路整備等も含めた構想を検討すると共に、地域資源を活用した市民の健康増進、交流人口の増加を目指し、一体的なまちづくりを念頭に魅力的でわくわくする未来を描くビジョンとして、「千曲市総合運動公園基本構想」（以下、「基本構想」）を策定することを目指しています。

### 【基本理念】

- 1 [スポーツ振興] する・みる・ささえるスポーツ施設の充実
- 2 [地域の集う場] 日常的に人が集いたくなる地域のリビングとしての公園
- 3 [スポーツ振興&温泉] 戸倉上山田温泉・スポーツ施設・千曲川等の多様な資源の融合

## 2. 協議会の役割（ミッション）と構想の位置付け

千曲市総合運動公園基本構想策定協議会（以下、「協議会」）は、基本構想の策定に関する事項を検討するために設置する組織で、本年度から来年度までの2か年で、実現可能な基本構想の案を策定し、総合運動公園整備に向けたアウトラインを示します。

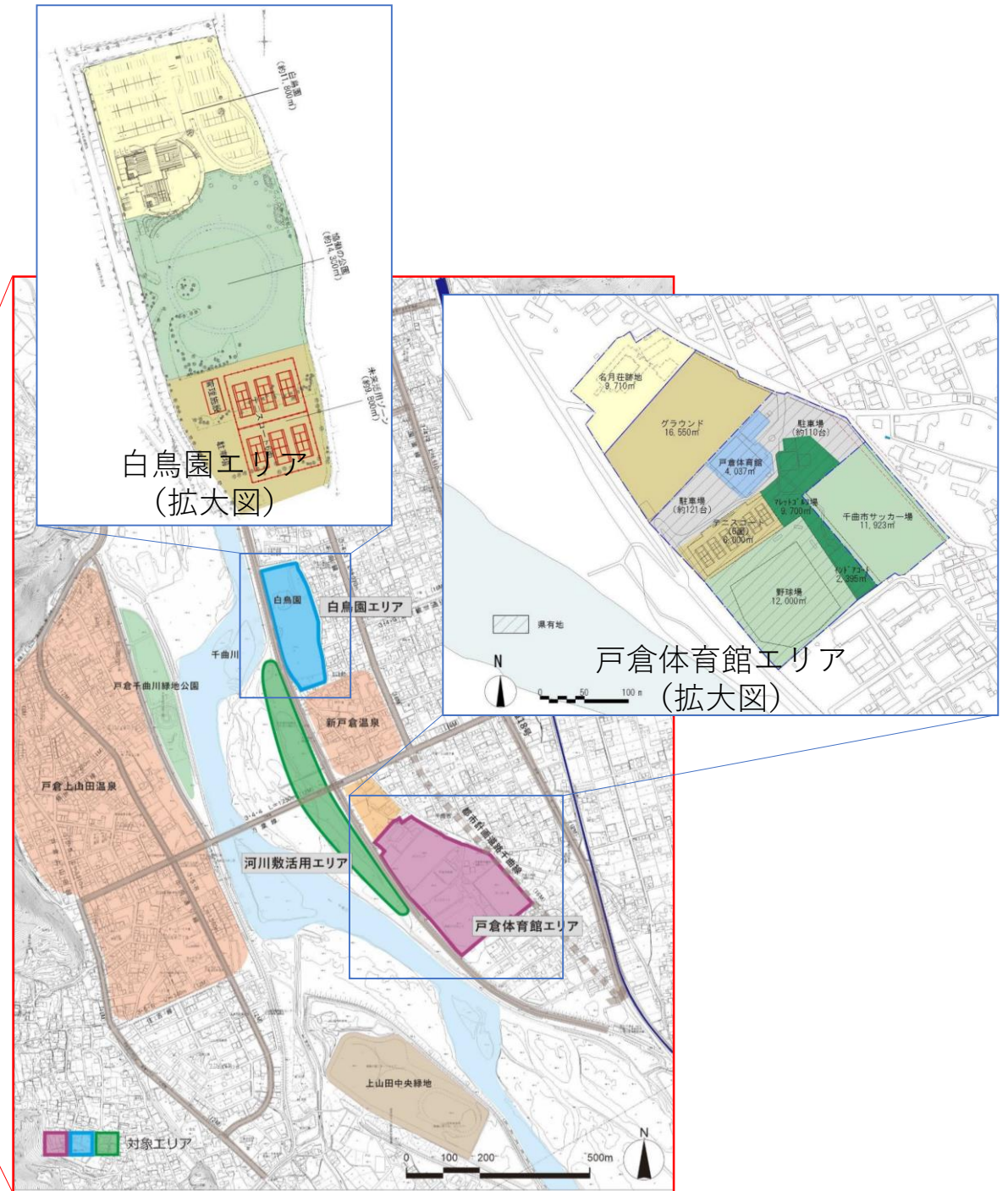
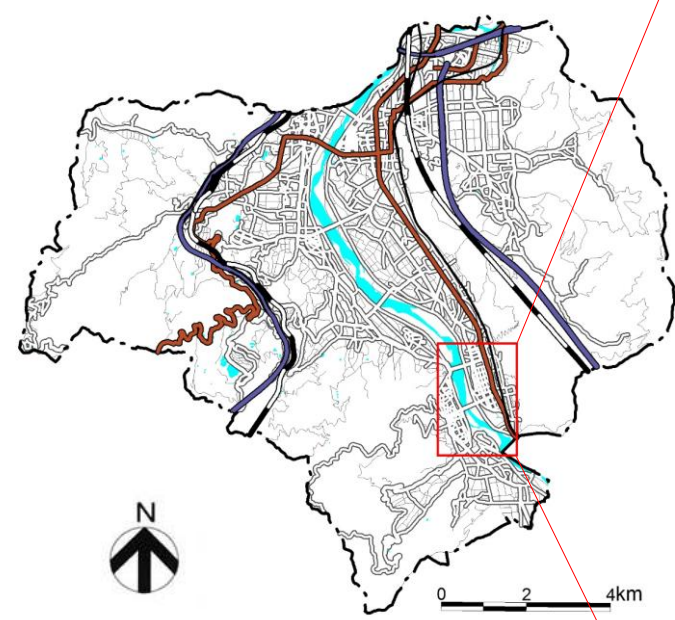
## 3. これまでの検討経過

協議会における基本構想の検討に先立ち、昨年度庁内において、上位関連計画との関係や対象エリアの現状及び活用条件を整理するとともに、今後の検討のたたき台として「戸倉体育館周辺活用方針」をとりまとめました。

本年5月には、ここに示した基本理念やエリア別の整備方針、その他構想策定の進め方を『千曲市総合運動公園基本構想策定方針（案）』として公表し、5月26日から6月9日までの15日間、パブリックコメントを実施しました。

# 4. 検討の視点と対象範囲

基本構想の検討にあたっては、長野市と上田市の間に位置する本市の立地条件を踏まえ、全市的な観点から、周辺資源の活用や連携も図りながら、戸倉体育館エリアと白鳥園エリア、さらには両エリアをつなぐ河川敷エリアを主対象として検討を進めます。



## <補足①>戸倉体育館エリアで展開している各種スポーツの主なイベント及び要望（経緯）

### 【野球】

#### ○主なイベント

- ・ 寿野球 →令和3年度で45回目
- ・ 生涯野球 →令和3年度で33回目

#### ○主な要望（経緯）

- ・ 観客席のある野球場の整備※  
※要望書・12,000人余りの署名  
※策定方針のパブリックコメント時に意見あり

### 【バスケットボール】

#### ○主なイベント

- ・ Bリーグ所属のプロチーム「信州ブレイブウォリアーズ」（平成22年設立）のホームタウン

#### ○主な要望（経緯）

- ・ ホームアリーナは長野市ホワイトリンクのため、Bリーグの本拠地新基準（収容人数1万人規模）を満たす体育館の新設※  
※策定方針のパブリックコメント時に意見あり

### 【サッカー】

#### ○主なイベント

- ・ 北信越リーグ所属のサッカーチーム「リベルタス千曲FC」（平成22年設立）の本拠地
- ・ きずな～in 千曲  
→東日本大震災後、毎年開催

### 【陸上競技その他各種スポーツ】

#### ○主なイベント

- ・ 千曲川ハーフマラソン  
→令和3年度に7回目（中止決定）
- ・ 市民体育祭
- ・ 小・中・高校生の学校スポーツや学校外のスポーツの各種大会
- ・ その他各種スポーツサークルの大会等

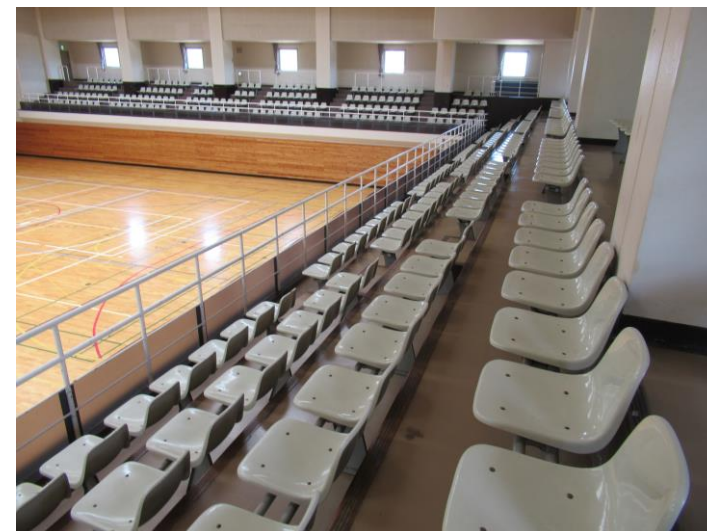
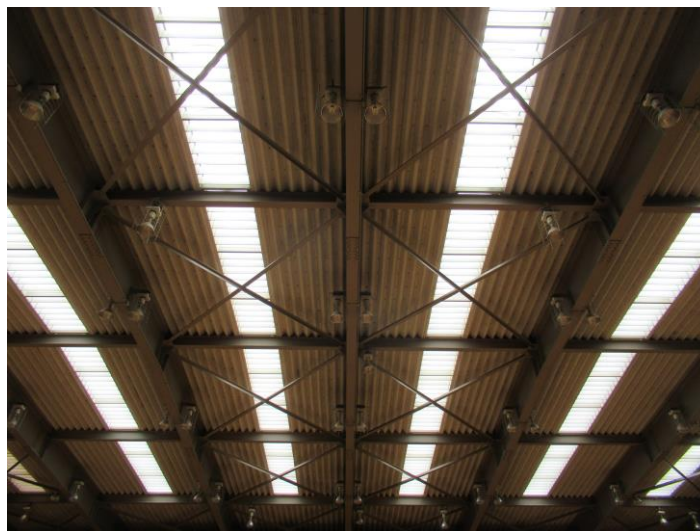


## 5. 現在予定されている事業

### ■戸倉体育館エリア

戸倉体育館利用者の安心・安全確保のため、令和4年から非構造部材の耐震化及び必要な修繕等は実施します。

また、戸倉体育館は令和10年に長野県で開催予定の、第82回国民体育大会ハンドボール競技会場として内定済みとなっています。



## ■白鳥園エリア

新白鳥園の完成後、エリア内の低未利用地の一部が、「花と緑の公園」化を目指して設立された「白鳥園協働の公園づくり実行委員会」の活動拠点となっています。

平成24年度に、「新白鳥園市民会議」により新白鳥園の基本計画策定を図るため、市民参加型のワークショップを5回開催し、「新白鳥園基本計画（案）」が提案され、公園整備の基本構想についても検討されています。

その後、「白鳥園協働の公園づくり実行委員会」において、上記基本計画（案）を基に検討された将来構想（右図）に基づき、敷地中心部の一部ゾーンを芝生広場として整備する事業を今年度から進めています（基本設計業務発注済）。

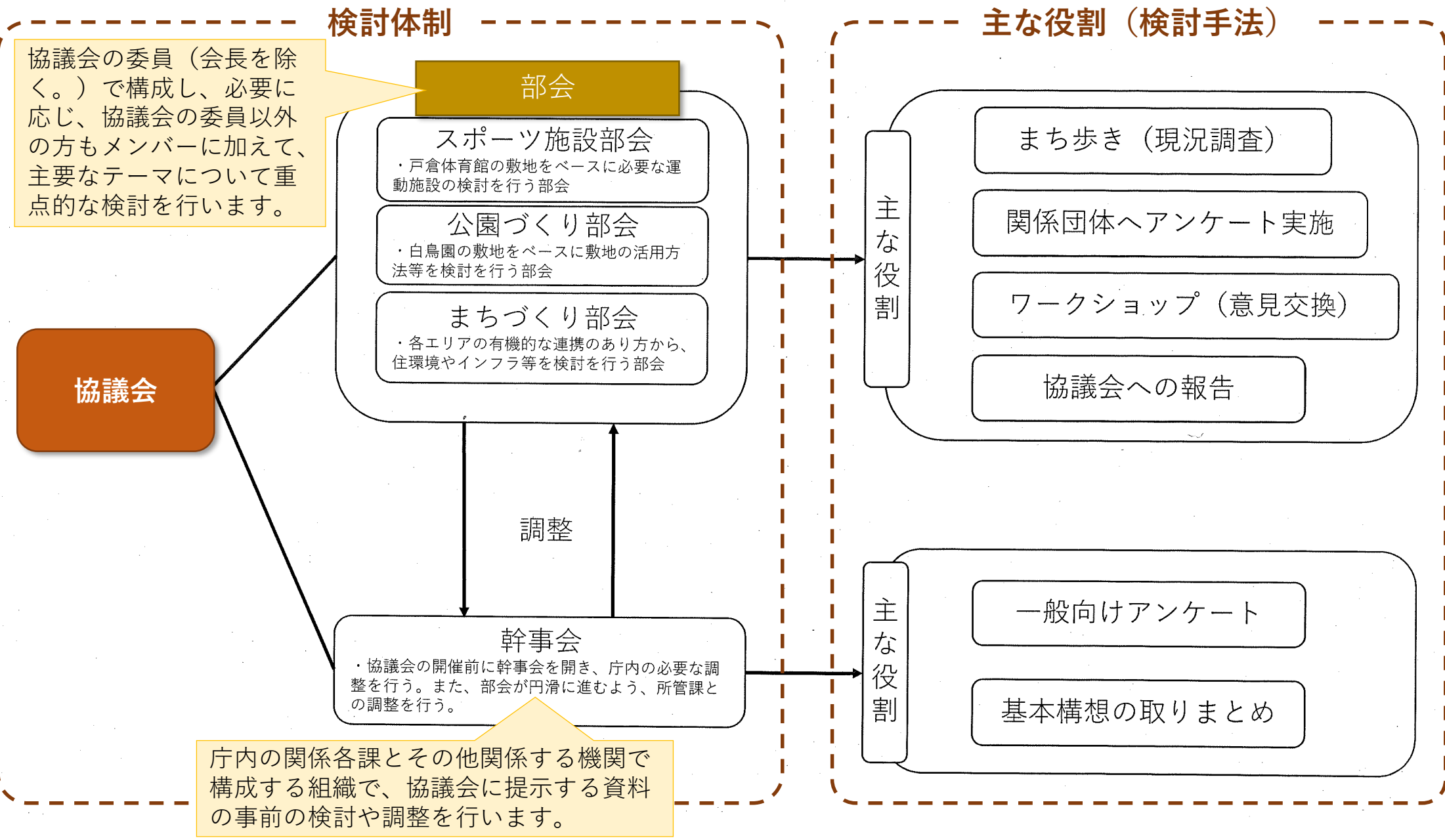
ただし、これについては、基本構想の検討内容との調整を図りながら進めていく考えです。





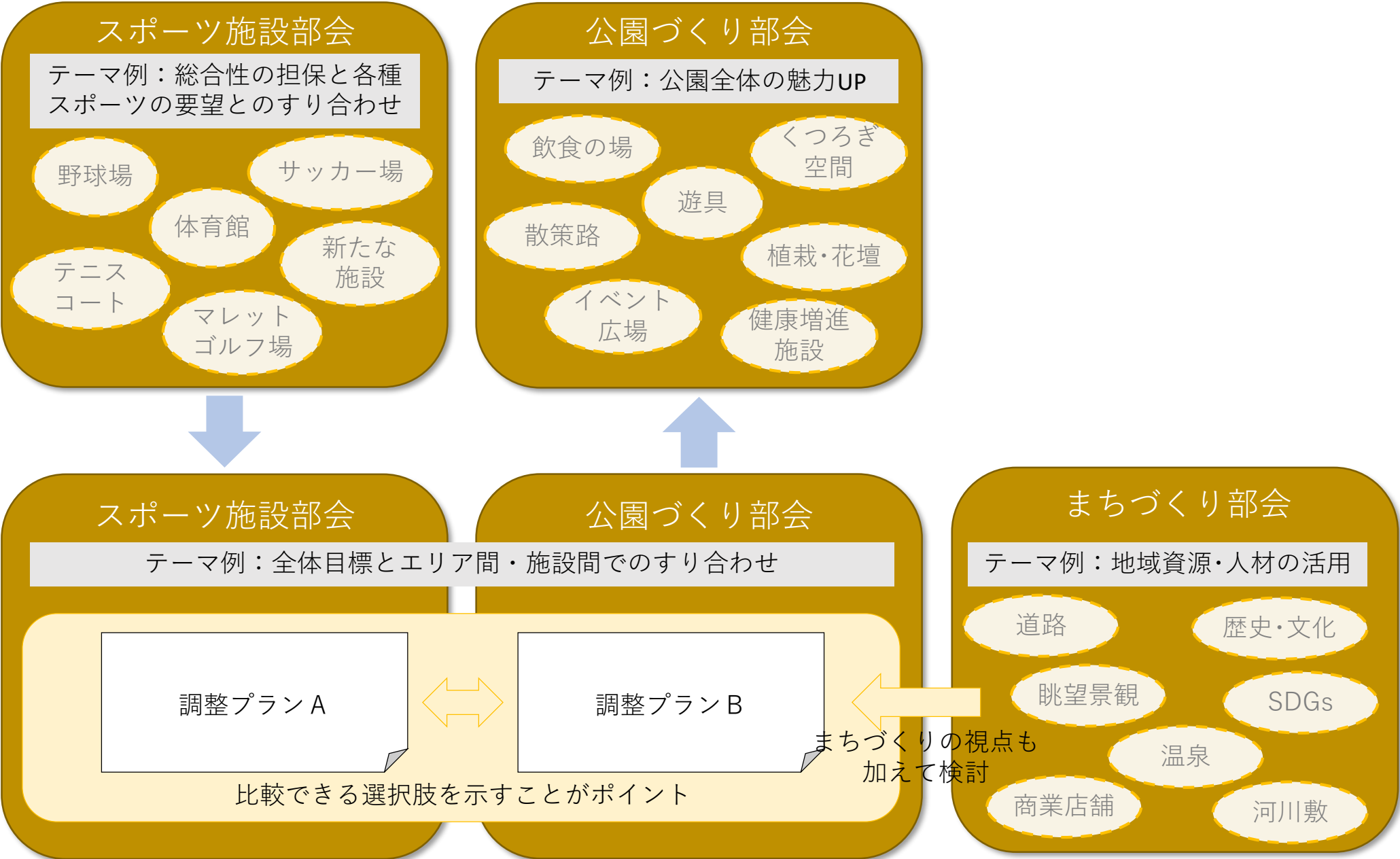
# 6. 検討体制と手法

千曲市総合運動公園基本構想策定協議会体系図



<補足②> 部会での検討イメージ

各部会・各回テーマを明確にし、より多くの意見を引き出せるようワークショップ形式で開催します。  
→部会ごとにバラバラに検討せず、関係性や連続性をもたせ、手順や手法を工夫して議論を展開





# 7. 検討フロー

## 第1段階（令和3年度）

### 第1回協議会 (7/13)

- ・ 前提条件（背景やミッション、経緯、検討対象範囲等）の共有
- ・ 進め方（検討体制や手法、検討フロー等）の共有

スポーツ施設部会  
(8月頃)

スポーツ団体用アンケート

施設利用者用アンケート

3部会合同開催

スポーツ施設部会

公園づくり部会

まちづくり部会

まち歩き（現地視察）＋WS（室内）  
(9月頃)

公園づくり部会  
(9月頃)

### 第2回協議会 (10月頃)

- ・ 現状・課題の整理
- ・ 一般用アンケート（案）の内容確認
- ・ 基本理念及びエリアごとの整備方針案の検討

構想の検討状況の周知（情報発信①）

一般用アンケート

スポーツ施設部会  
(11月頃)

公園づくり部会  
(11月頃)

### 第3回協議会 (12月or1月頃)

- ・ 基本理念及びエリアごとの整備方針の決定  
（一般用アンケートや部会意見の反映）

多様な意見・考え方の把握・共有

方向性の集約

目標：みんなが共有できる基本理念（目標）及びエリア単位・施設単位の整備方針の設定

## <補足③> 各種アンケートの設問イメージ

各種アンケートは、協議会や部会での意見や検討状況を踏まえ、適切な内容、最適なタイミングを見極めて実施します。またアンケートの調査手法についても、現状や利用実態等を的確に把握できるよう工夫していきます。

### スポーツ団体用アンケート

#### <設問項目例>

- ・ 利用頻度や活動状況
- ・ 現施設に対する満足度  
→各スポーツ間で比較
- ・ 現状の施設・空間に対する課題・要望

### 施設利用者用アンケート

#### <設問項目例>

- ・ 利用頻度や利用状況
- ・ 現施設に対する満足度  
→年齢など属性別の比較
- ・ 現状の施設・空間に対する課題・要望

### 一般向けアンケート

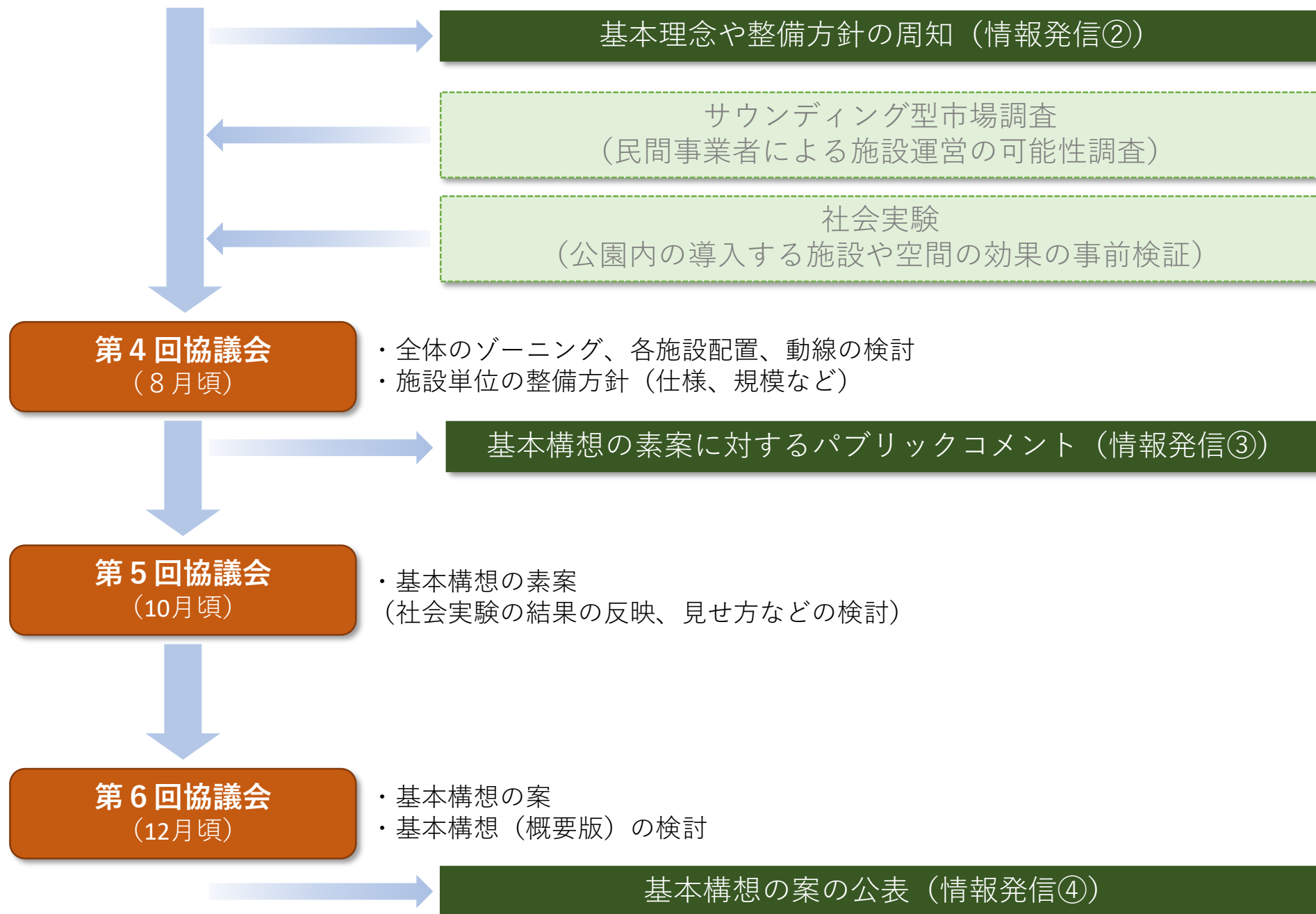
#### <設問項目例>

- ・ 協議会で合意形成した基本理念（目標）及びエリアごとの整備方針の案に対する意向
- ・ 個別の施設プラン（選択肢のある要素）に対する意向
- ・ 新たなスポーツや利活用ニーズ（例：カフェ等）の把握

## 第2段階（令和4年度） ※予定

全体の調整・個別施設の検討

全体とりまとめ



目標：基本構想の案のとりまとめ



## 8. 策定ポイント

### ■ポイント 1

現状において多様な利用があって、限られた敷地のなかでの検討

### ■ポイント 2

戸倉体育館エリアと白鳥園エリアや河川敷エリアとの一体的な検討  
(エリア間での機能分担・機能再配分)

### ■ポイント 3

既存の低未利用地の有効活用や将来的な敷地拡張の可能性も見込み、  
長期的な視野に立った検討（短期と中長期での整備段階の仕分け）

### ■ポイント 4

多様な利用者（スポーツ団体等）その他ステークホルダーの意向・  
要望の利害調整と反映

→単なる折衷案や現実案ではなく、想定される様々な対立矛盾を  
乗り越え、千曲市にとって真に価値ある（市民が誇れる）運動公  
園（施設整備）構想を如何に描くことができるか。

### ■ポイント 5

総合運動公園としての「総合性」を担保しつつも、千曲市ならでの  
魅力の創出（長野市や上田市にはない特色）